

株式会社大和証券グループ本社

「自分と社会との関係性を見出す 学びと創造の場づくり」

近年、「サステナビリティ（持続可能性）」という概念が認識されるようになって来た。温暖化などの環境問題を契機としているが、グローバルな南北格差が深刻化し、日本国内でも一千万人とも言われるニートの増加、さらには自ら命を落とす人が年間三万人を超えるなど、地球と人間に関わるさまざまな事象が、社会の危機的な状況をあらわしている。大和証券グループ本社は、次世代を担う若い世代の意識啓発や行動を促し、社会全体のサステナビリティを高めることを目的に、NPOのジャパン・フォート・サステナビリティ(以下JFS)とパートナーシップを組み、二〇〇六年十月より「ダイワJFS・青少年サステナビリティ・カレッジ」を開講した。

サステナビリティ分野における オルタナティブ教育を目指す

「ダイワJFS・青少年サステナビリティ・カレッジ」を構想したのは二〇〇六年三月。投資信託「ダイワ・エコ・ファンド」の導入を決めた折、お金の流れを通して持続可能な社会の実現を推進する金融商品を販売するだけでなく、さらに社会にプラスになるような行動に結び付けていきたいと考え、「次世代の社会作りを担う人材育成」に主眼を置いたプログラムを模索。「ダイワ・エコ・ファンド」の純資産額から算出された大和証券および大和証券投資信託委託からの年間寄付金六百八十万円を原資として十月よりJFSと講座を開始した。

自分と社会との関係性を見出す

開講にあたっては、同社ホームページ、朝日新聞上での記事掲載、学生が関わっているNPOのメンバーリストなどを通じて広報した結果、定員百名を上回る反響があった。現在カレッジには文系理系問わず、三十九もの異なる大学から環境、開発、農業、環境技術などさまざまな分野の学生たち百二十四名(うち高校生五名、大学院生十六名を含む)が登録。「社会を変えるにはどうしたらよいか」、「自分の関心が社会とどうつながっているのか分からない」、「今後どう進んだらよいか」と迷っている学生にとっては、一回

◆「ダイワJFS・青少年サステナビリティ・カレッジ」◆
http://www.japanfs.org/ja/college/outline.html#2006


【年間テーマ】
2006年 「容量・資源とサステナビリティ」
2007年 「公平性(世代間・地域間)とサステナビリティ」
2008年 「多様性とサステナビリティ」
2009年 「意志・つながりとサステナビリティ」
※毎月1回 年間12回。4年間で合計48回を予定
※講座の内容は英語に翻訳して189カ国へ発信

【開催場所】
大和証券本店ビルホール 18:00~20:00

【対象】
高校生、大学生、専門学校生(学生であれば特に限定なし)
*現在は募集を締め切っています。


【受講料】 無料

2006/11/28



今月のカレッジ終了後に、皆様へお配りするお取り寄せは、「おかしらばれっと」のガトーショコラカップケーキorクッキーです。(いずれか一つお選びください) 全商品に低タンパク質の北海道産小麦粉を使用し、甘さを控え、保存料・着色料を一切使用せず自然な風味を生かしたお菓子です。是非ご賞味ください。
「おかしらばれっと」は、知的障がいのある人達が製造・販売を渡し、クッキーやケーキ作りで社会参加と自立を目指す通所の福祉作業所です。

おかしらばれっと
【営業時間】 9:00~17:30
【定休日】 土・日・祝祭日
【住所】 〒150-0011 渋谷区東3-19-9 恵比寿イ・エムビル101
【ご注文先】 03-3408-3724へ



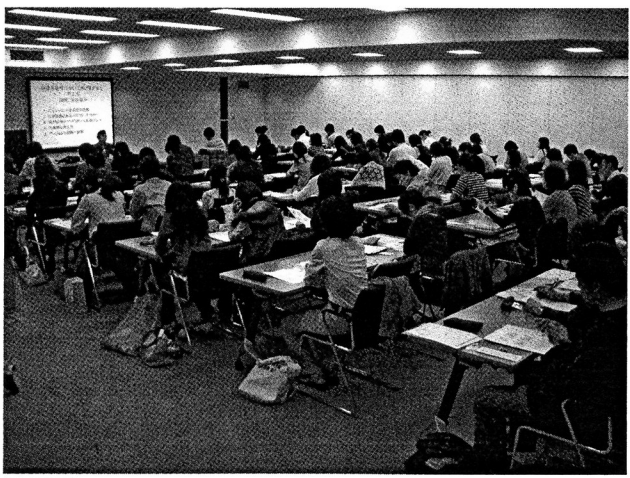
生産と売上を伸ばして、彼らが将来的に自立した生活を営めるだけの収入を得られるようにすることが、今の大きな目標です。この目標達成に向かって、商品の改良・開発・販路の拡大などさまざまな経営努力を行っています。今日ご紹介した商品のほかギフト商品など色々あります。HPをご覧ください。
http://www.snc-pacific.or.jp/okashi/index.html

特定寄付金収入 ばれっと <http://www.snc-pacific.or.jp/>

ばれっとの作りは、渋谷区教育委員会が実施している「『さびや』青少年教育(目的に達しない者に対するための社会教育の場)から始り、ボランティアが各自の関心に応じて、活動が出来る高品質な施設に作りかえられたり」が実現された。有難い機会に「ばれっと」は、誰の心の支えです。ばれっとの作りかえを希望する方は、お申し込みください。お申し込みは、お申し込み先(お申し込みの年齢・性別・人数に制限なく)が問い、変更することで新しい可能性を生み出した。という思いが込められています。

大和証券グループ本社 CSR室

講義終了後はCSR室の布川眞理子さんから「サステナブルなお取り寄せ」としてフェアトレード、障害者施設で作った商品等を紹介、学生に試食をしてみらう



講義風景
分野横断的な学びの場には、文系理系を問わずさまざまな学生たちが
机を並べる

一回の講義が社会の中で自分の立ち位置を確認し考える機会になっているようだ。
社会に出た学生たちがそれぞれのフィールドで活躍してくれることを目指し、四年間で「専門性」という般に狭く収斂するのではなく、自分の関心を核として、「サステナビリティ」との接点を見出し、行動として発展していくような学びと創造の場を提供する。毎回実施するアンケートで出欠を確認、出席回数に応じてカレッジ修了証書を交付しようと考えている。「社会に出たときに、どのセクター、どんな職種に就職しても社会の持続可能性との接点を見出してもらえれば」と金田さん。彼らに託す夢は大きく膨らんでいる。